



えのしろ

四日市市立三重北小学校

令和6年9月6日発行



学校教育目標 「自ら考え、行動できる子どもの育成」

全国学力学習状況調査の結果より

4月18日、6年生児童を対象に全国学力学習状況調査が実施されました。今年度は、国語・算数2教科の学力調査と学習に対する姿勢や生活習慣等の調査が実施されました。結果は、2教科全てにおいて全国や県の正答率を上回るものでした。学校・家庭・地域が一体となって取り組んできたことが、子ども達の学力向上につながったと考えています。

しかし、全国学力学習状況調査の目的は、結果分析をもとに、本校の「強み」「弱み」を明らかにし、今後の授業や家庭での学習、生活の改善に活かしていくことが目的です。是非、この後の分析結果と今後の学校の取組に目を通していただき、子ども達の学力定着と向上及び生活の質の向上のために、ご協力ください。

【結果】

- 国語は、正答率が全国平均より 2.3%以上、上回っています。
- 算数は、正答率が全国平均より 0.6%以上、上回っています。
- 国語、算数ともに、無解答率が 0%と全国平均より大幅に低く、粘り強く子どもたちが取り組んだ結果となっています。
- 国語、算数ともに、記述式の正答率が高くなっています。

【三重北小の強み】

- 問題に対して最後まで粘り強く解くことができます。基礎学力が定着しており、それによって課題に向かう力がついてきています。

【国語】

- 文法(主語、述語)の関係を理解することができます。
- 条件を満たした文章を書く力がついています。
- 物語から読み取った内容を、自分の考えをまとめて表現することができます。

【算数】

- 見取り図(直方体)についての理解ができています。
- 必要なデータを取り出して、分類・整頓することができます。
- 円グラフ・折れ線グラフ・表の読み取りが理解できています。

【三重北小の弱みと今後の取組】

【国語の弱み】

- 話し言葉と書き言葉の違いを理解し、使うことが苦手です。
- 目的や意図に応じて、話題を決めたり、伝え合う内容を検討したりすることが苦手です。
- 取材メモ、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し、使うことが苦手です。

【国語の取組】

- 内容を整理するときに、図などのツールを使い、可視化してまとめる活動を入れます。
- 友達が整理した図や整理メモから分かることを文章でまとめる活動に力を入れます。
- 今後も漢字や主語・述語の関係、適切な話し方など知識・技能の習得に力を入れます。

【算数の弱み】

- わる数が小数のわり算の理解が十分ではありません。
- 図形における「底面」や「側面」の理解が十分ではありません。
- 考え方を文章で説明することが苦手です。

【算数の取組】

- 式や公式の意味を考えたり、説明したりする活動を多く取り入れます。
- 問題場面を想起しやすいよう、ICT を活用した視覚化・ブロックなどの具体操作の学習機会を多くし、図形の基礎的な知識・理解の定着に向けて復習の機会を取り入れます。
- 考え方を文章で説明するために、キーワードを提示したり、友だちの考えを自分の言葉で説明したりする活動を行います。

【学習に対する姿勢や生活習慣等の調査結果より】

- 基本的な生活習慣、自己肯定感が育まれている児童がたくさんいます。
- 「課題解決に向けて自分で考え、取り組めた」「話し合いを通じて自分の考えを深めることができた」という児童がたくさんいます。
- ICT 機器を学習で活用できていると感じている児童がたくさんいます。
- ▲家庭学習の定着ができていないという傾向がみられます。
- ▲国語の学習に苦手感を抱いている傾向が見られます。

【取組】

- 自主学習の取り組み方について指導の工夫をしていきます。
- 興味関心が持てるような読書教育の取り組みをすすめます。
- 学校全体で朝学の時間の中に、「書くこと」の学習の機会を取り入れます。

今年度、三重県教育ビジョンが改訂されました。「自己肯定感の涵養」「自律的な学習者の育成」を改定の大きな柱としています。特に、「自律的な学習者の育成」のためには、家庭(自主)学習のあり方の重要性が掲げられています。学校では、今後も「聴きあう力」を育てることに重点を置いて取り組んでいきます。ご家庭でも、書いたり話したりすることや自主的な学習への声かけ等意識していただき、お子さんを見守っていただくとありがたく思います。